

授業科目名・形態	セイフティマネジメント 講義	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	菅原 富貴子	実務経験の有無	有	開講期	3年後期

【授業の主題】

医療安全のヒューマンエラー、ノンテクニカルスキル、安全文化の醸成、医療の質の向上等、医療安全の基礎的な考え方を学ぶ。更に組織としての安全管理体制とコミュニケーションの重要性を理解し、医療事故回避の方策と看護職の法的責任について学びリスク感性を培う。

【到達目標】

- 1) 医療安全の基本的な知識を習得する。
- 2) 安全を守るための“すべき事”“してはならない事”を学び、事故防止と危険予知の感受性を高める。
- 3) 医療・看護の業務におけるコミュニケーションの重要性を理解し適切に活用できる。

【授業計画・内容】

- 第1回 医療安全の組織的安全管理体制への取り組み
- 第2回 事故発生メカニズムとリスクマネジメント
- 第3回 看護業務に関連する事故と安全対策①
- 第4回 看護業務に関連する事故と安全対策②
- 第5回 看護業務に関連する事故と安全対策③
- 第6回 看護業務に関連する事故と安全対策④
- 第7回 医療従事者のリスクと対策：職業感染と標準予防策について
- 第8回 医療安全とコミュニケーション（演習）・まとめ

※※進行状況に応じて多少変更する可能性あり。

【授業実施方法】

基本的に講義形式・演習。必要に応じ個人ワーク、グループワークやレポートも取り入れる予定である。

【授業準備】

関連する科目の復習と講義前の予習。

【主な関連する科目】

「看護学概論」「看護倫理」「看護コミュニケーション」「基礎看護技術論 I・II」「看護過程論」等看護領域全体
「感染と免疫」「薬理学概論」

【教科書等】

系統看護学講座 医療安全 看護の統合と実践 ② (医学書院)

【参考文献】

講義の際、適宜紹介する

【成績評価方法】

筆記試験 80% レポート・授業態度等 20%を総合評価。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

地域の二次医療機関に於ける5年間の医療安全推進室・副室長の実務経験と、医療安全管理者の知識を活かし、具体的な事例を紹介しながら、医療従事者の業務に関連する「安全知識・技術」を習得する機会を提供する。更に、学生が危険予知能力を向上できる授業とする。

【学生へのメッセージ】

医療安全は、「医療の質向上」「最良の医療サービス」ともいわれ、「安全な医療の提供」は医療従事者の責務と考える。しかし、医療現場に於ける医療事故・院内感染・職業感染を“0”にする事は極めて困難である。故に、「人は誰でも間違える」という認識の下、「間違えないための努力」を惜しまない姿勢が重要とされる。医療安全の必要性和重要性を、医療職（看護職）となる貴方自身の課題と認識し、在学中だけでなく、卒業後も恒常的に学ぶことを期待する。